

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	勤労者施設管理運営事業	コード	04-02-05-01	担当課係	商工観光課労政係
事業実施期間	S46~		担当者	難波巧	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	起業と創造が支えるまちづくり			
	小項目	勤労者福祉			
	施策	福利厚生の充実			

事業について	
目的	市民及び市内勤労者に文化、教養、研修、スポーツ等の活動の場を提供することにより福祉の増進に資する。
対象 (誰のために)	市民及び市内勤労者並びに施設利用者
内容	リフレセンターびぜん、備前市勤労者センター、備前市勤労青少年ホームの維持管理、利用業務を行う。

事業の結果						
実施項目						
17年度						
	回数など (単位)		回数など (単位)		回数など (単位)	
開館日数(年間延)	877 日					
教室等開催数(年間延)	1,116 回					
利用者数(年間延)	79,215 人					
事業費 (単位:千円)						
事業費	事業費		財源		事業費	
	直接事業費	37,542	国庫補助金等		直接事業費	
(単位:千円)	人件費	793	受益者負担		人件費	
	合計	38,335	市債		合計	0
必要人員	0.10 人					
結果指標①	結果指標名	教室等開催数(年間延)				
	結果指標量	1,116				
	単位	回				
	対前年比	—				
結果指標②	事業費	38,335,000 円		円		円
	単位当たりコスト①	34,350 円		円		円
	結果指標名	利用者数(年間延)				
	結果指標量	79,215				
結果指標③	単位	人				
	対前年比	—				
	事業費	38,335,000 円		円		円
	単位当たりコスト②	484 円		円		円

事業の成果			
成果指標名	利用者数	式又は説明	3施設利用者数計
17年度			
成果指標量	79,215.00		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	80,000(人)	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
市民参画度		施設管理公社に管理委託し、随時コスト削減等の協議しているが、今後さらに効率よい管理を目指し指定管理制度の導入を目指す。 各施設は、利用者が多く稼働率が高い、今後も引き続き利用促進を図っていく。

総合評価		
コメント	各施設は利用者も多く、勤労者の研修やスポーツなども行われ、目的に沿ったかたちで運営されている。しかし、厳しい財政状況から、指定管理者制度の導入などによりさらに経費削減を進めていく必要がある。	評価区分 <A~E> B
今後の方向性		
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度	結果指標量①	1,150(回)
目標値	結果指標量②	80,000(人)

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	指定管理者制度導入	H18	経費節減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。